

# 福岡市のMICEについて

資料1

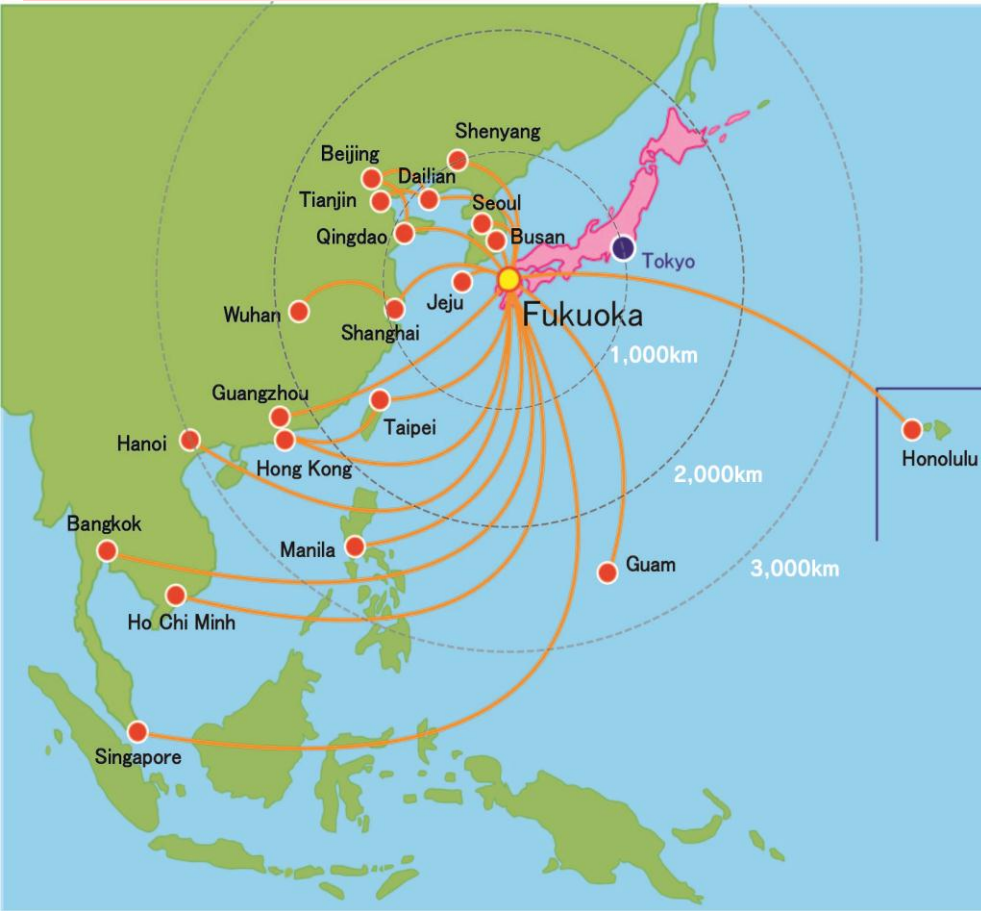


福岡市経済観光文化局

2013年3月28日



## 充実したアクセス



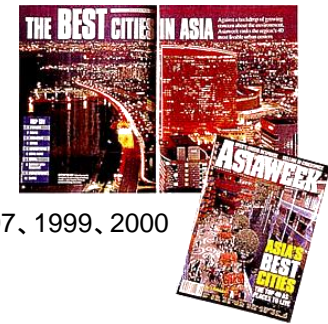
- ソウル..... 1h20min.
- 上海..... 1h35min.
- 台北..... 2h15min.
- 香港..... 3h35min.
- 北京..... 4h30min.
- バンコク..... 5h20min.
- シンガポール..... 6h10min.

- アジア各都市20箇所へ航空便がアクセス
- 5月からは、シンガポールー福岡間のフライトがデイリーに
- 4月からは、KLMオランダ航空直行便就航

## 世界に評価される国際都市

### Asia Week

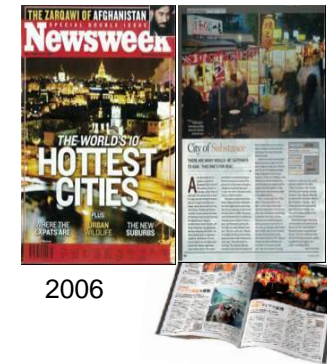
もっとも生活しやすい  
都市**アジア1位**



1997、1999、2000

### Newsweek

世界でもっともホットな  
10都市**世界2位**



2006

### Monocle

世界でもっとも住みたい都市  
**世界12位**



2012

# 都市機能と陸・海・空の広域交通機能が半径3km圏内に集積



ウォーターフロントエリア  
コンベンション施設(右)  
国際旅客ターミナル(左)



天神地区の商業施設



市内ホテル23,000室



福岡空港



JR博多シティ



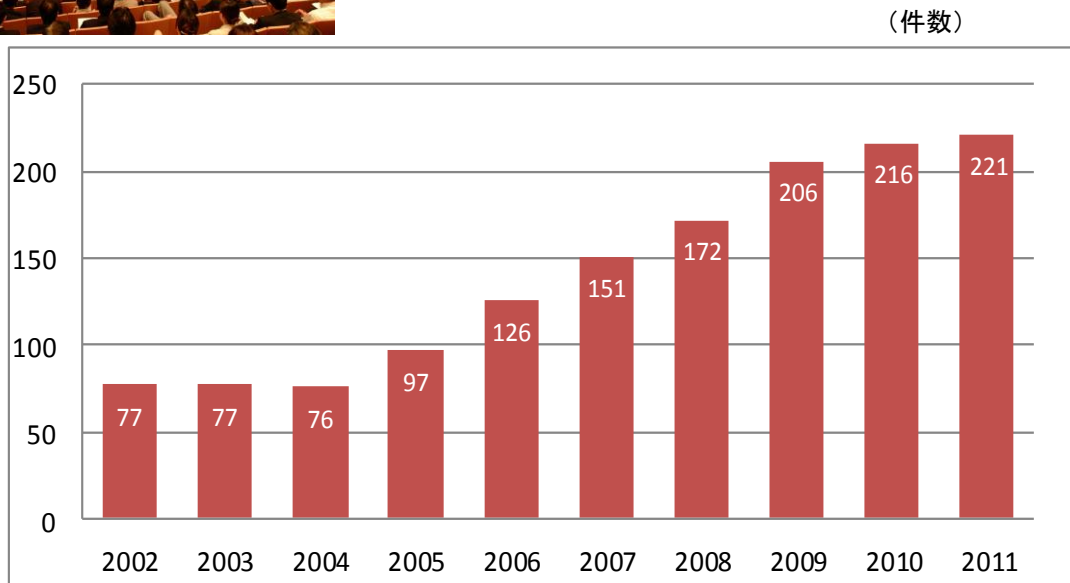
九州新幹線





# 国内第2位の国際コンベンションシティ 福岡

開催実績国内 **2位**



2011年	
都市名	開催件数
東京都	470
<b>福岡市</b>	<b>221</b>
横浜市	169
京都市	137
名古屋市	112

## 主要開催実績

2003年	日本医学会総会	33,000人
2004年	国際青年会議所世界大会	12,000人
2005年	国際宇宙会議	2,500人
2006年	世界政治学会	2,200人
2012年	国際泌尿器科学会総会	3,300人
2012年	東洋東南アジア・ライオンズフォーラム	18,000人

## 経済波及効果

平成19年度の福岡国際会議場・マリンメッセ福岡・福岡国際センター3施設のコンベンション開催における

- **経済波及効果: 1,200億円**
- 雇用創出効果: 3,502人
- 税収効果: 8.01億円

## アジア関連の会議増加

2008年	2009年	2010年	2011年
28	44	47	<b>52</b>

医学，工学，環境，芸術，文化など，  
**幅広い分野での会議**を開催

### 工学

- ・アジア石油化学工業会議

### 医学

- ・第11回アジア小児腎臓学会学術集会
- ・第5回アジア口腔病理学会

### 医学物理学

- ・第11回アジア・オセアニア医学物理学会

### 環境

- ・第5回東アジア環境問題国際シンポジウム

### 芸術

- ・第1回アジアオーケストラフェスティバル

### 文化

- ・ソーシャル・ビジネス・フォーラム・アジアイン福岡
- ・第6回アジア都市ジャーナリスト会議

## 主催者からの評価

- ・ **空港からのアクセス**が非常によく，アジア諸国からも距離が近い。
- ・ ビューローや市から主催者の **ニーズに応じた支援**を受けられた。
- ・ **福岡市民と交流や産業交流**を持つことが出来た。
- ・ 食べ物やショッピングなど， **近くで色々なものが楽しめる**。



街の至る所にアジアのカケラがちりばめられた「アジアンシティ・フクオカ」として、ANAグループ機内誌「翼の王国」で紹介(平成24年5月号)





## 日本消化器関連学会 JDDW2011

期間：平成23年10月20日～23日  
 人数：20,000人  
 会場：コンベンションゾーン4施設

◆日本最大規模を誇る医学会  
 80ものシンポジウムやパネルディスカッション、ワークショップが開催される。



## アジア・オーストラレーシア麻酔学会

期間：平成22年6月1日～5日  
 人数：7,000人（うち海外500人）  
 会場：コンベンションゾーン4施設

◆日本麻酔科学会第57回学術集会（JSA）  
 第13回アジア・オーストラレーシア麻酔学会（AACAA）を併設で開催  
 同時開催により200を超えるプログラム



## 半導体及びナノテクノロジーにおける強磁場国際会議

ノーベル賞受賞者  
 独研究所の教授  
 福岡の印象語る  
 国際会議で訪問  
 福岡市博多区の福岡国際会議場  
 6日まで開かれた「強磁場国際会議」  
 に出席したノーベル物理学受けた。

！  
 受賞者で、ドイツのフロンツィンゲン  
 マックスプランク研究所教授は福岡の印象を  
 クリス・ツィンケ、「東京や京都を通り  
 ツィンゲン教授が回って街の雰囲気がいり  
 日、同会議場で会見している。野外調査で防  
 初めて訪れた福岡の印象を柳川市が印象的だ  
 なを語った。たて寄り返ったまた、  
 会議には世界20国がこの日、被爆から65年を  
 ら約160人の物理学者迎えた広島市にも連れ、  
 が参加。強い磁場を使う「科学によって、よりよ  
 た研究の成果を議論し未来をついていきた  
 した。フロンツィンゲン」とも語った。



期間：平成22年8月1日～6日  
 人数：世界20か国から160人  
 ノーベル物理学賞受賞クリツィンゲン博士記者会見  
 ◆空港や駅からのアクセスが便利  
 ◆国際会議場からの眺望も良く、港を背景とした全体の環境が素晴らしい  
 ◆大都市より雰囲気がゆったりしている一方街に活気がある



## 公共空間を利用したパーティー



福岡城跡(舞鶴公園)でのウェルカムパーティー

川端商店街での交流パーティー



明治通りをパレード

## 官民一体となったおもてなし

### 語学ボランティアの活躍



### グルメガイドブック

外国人の受入を歓迎し、英語の対応が可能な飲食店や福岡名物の紹介



ゴールデンオールディーズワールドラグビーフェスティバルでは、福岡市全体のホスピタリティが評価され

- ・「フレンドシップアワード」を19回大会で初めて開催都市が受賞
- ・外国人参加者満足度93.6%と高い評価



## ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル（2012年）

◆世界17か国 約2,540名  
（うち海外約1,116名）

### ◆誘致成功の要因

北半球16都市の中から福岡に決定

- ・試合会場、ホテル、関連施設がコンパクトにまとまって配置されており運営しやすい。
- ・ホスピタリティの高さ。
- ・地元企業の理解(トップリーグに複数在籍)

## 熊本との連携

◆熊本城でのピクニックデー  
1,600名参加（海外参加者は約1,000名）

### ◆九州内連携

- ・福岡決定前の視察の際に城壁の雰囲気が入られる  
→福岡城跡でのウェルカムパーティー開催
- ・更に日本らしさを感じていただくために九州内の熊本城で  
エクスカージョン実施
- ・JR九州の協力により新幹線を安価で提供



## ライオンズクラブ国際大会（2016年）

◆世界205か国・地域 約30,000名  
（うち海外約10,000名）

### ◆誘致成功の要因

福岡(日本)、マンチェスター(英国)、シンシナティ、ソルトレイクシティ、ニューオリンズ(米国)5都市競合

- ・会長以下役員の前視察の際、「コンパクトで美しい都市」という高い評価を得た。
- ・地元ライオンズクラブと連携し、情報収集や誘致活動を行った。
- ・決定が震災直後であったため、市長レター等送付

## 官民連携での取り組みが必要

### ◆今後の課題

- ・九州内でのホテル宿泊確保
- ・九州内でのエクスカージョン
- ・スムーズな入国、移動交通手段



## 豊かな食文化

福岡市は日本におけるアジアの玄関口として発展した街で、うどん・そば・饅頭・茶は日本発祥の地であり、博多ラーメン、辛子明太子やもつ鍋、水炊きといった全国に知られた料理の本場でもあります。また、豊かな自然に恵まれた農作物や、地鶏などの畜産品、玄界灘の新鮮でおいしい海の幸など、年間を通しておいしい食材と料理が街中にあふれています。



博多ラーメン



屋台



水炊き



もつ鍋



辛子明太子

## 九州一体となった取り組みが可能に

福岡は九州の交通の要衝です。九州には見どころがたくさんあり、九州新幹線開通によりもっと近くなりました。

**九州新幹線**  
博多ー鹿児島 **最速79分**  
博多ー熊本 **最速33分**

**佐賀県**  
伊万里・有田焼  
吉野ヶ里歴史公園

**大分県**  
別府湯けむり  
豊後高田 昭和の町

**長崎県**  
グラバー園  
ハウステンボス

**熊本県**  
熊本城  
阿蘇

**宮崎県**  
宮崎牛  
高千穂峡

**鹿児島県**  
鹿児島島の味  
桜島





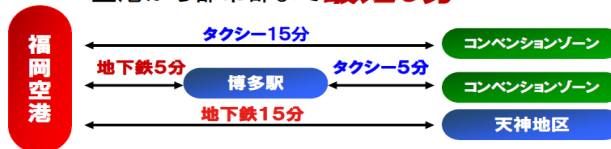
## コンベンションゾーンのレイアウト



★集約された複合施設

## ★空港・博多駅から利便性に優れたアクセス

空港から都市部まで最短5分



		稼働率
マリンメッセ福岡	展示面積 9,100㎡	81.5%
福岡国際センター	展示面積 5,000㎡	88.1%
福岡サンパレス	ホール 2,322名	69.3%
福岡国際会議場	会議室20室 ホール3,000名	67.7%

高い稼働率  
(リピーター70%)

平成23年度お断り件数  
展示場2施設46件(28万人)  
→経済波及効果 約130億円

## 世界に通じる「MICE都市福岡」の確立を目指して

### 誘致体制の強化

**ICCAへ加入**：世界89か国地域1000機関が加盟するMICE国際機関

- ・データベースを活用し、マーケティング調査
- ・国際見本市・展示会で福岡をアピール
- ・海外キーパーソンとのネットワーク構築

国際MICE誘致力の強化を図る

### 官民・市民などとの連携推進

#### 福岡方式の体制づくり

- ・ボランティアや市民交流事業
- ・街中での市民と一体となったおもてなし
- ・Wi-Fi環境や案内表示など受入環境の整備
- ・国やJNTO、近隣都市、九州内連携

「おもてなし都市福岡」の体制確立

### MICE支援内容の充実

#### MICE誘致・支援のプラットフォームを形成

- ・MICE関係者とのネットワーク強化
- ・ユニークベニューの拡充
- ・施設や街中での歓迎演出

主催者・参加者のニーズに応じた  
開催支援を行い、再来福を推進

### 施設や交通面での機能強化

#### コンベンションゾーンの機能強化

- ・第2期展示場整備
- ・コンベンション支援機能を持ったホテル等の立地
- ・交通機能の強化、回遊性の向上

さらなるMICE施策展開を可能  
海の玄関口として魅力向上

## 国への提案

- ・「MICE拠点都市」を新設し集中した国の支援(拠点整備に係る施設整備・交通インフラ)
- ・MICE参加者の入国手続き簡略化



シンク & ドゥ タンク

福岡都市圏の新しい将来像を描き、地域の国際競争力を強化するために、地域の成長戦略策定から実施までを一貫して行う

将来像 「東アジアのビジネスハブ」

～福岡都市圏は国際競争力を備えたアジアで最も持続可能な地域を目指す～

産学官が出資

■出資金額

民間企業	50,000千円
福岡市	50,000千円
国	15,000千円

■会員数 78団体

明確な目標設定 2020年までの目標

域内総生産 (GRP)	+2.8兆円 (年平均成長率+2.5%)
雇用	+6万人 (年平均成長率+0.5%)
人口	+7万人 (年平均成長率+0.3%)

5つの部会で具体的なプロジェクトを推進

観光

都市再生

人材

環境

食

MICE戦略、DMP構想

都心再生戦略(天神・博多・WF)

グローバル・コネク・ハブ